

学校だより

4月号

発行人 港区立白金小学校

平成三十一年四月八日



未来を切り拓く子供たちの育成を目指して

校長 吉野 達雄

春のあたたかな光とやさしい香りの中、白金小学校の平成三十一年度がスタートしました。保護者の皆様におかれましては、お子様のご入学、ご進級まことに御めどうございます。

さて、私は本年度着任いたしました第二十九代校長吉野達雄（よしのたつお）です。本校は、開校百四十四年を迎えます。これまで地域の皆様や歴代の教職員が築き上げた歴史と伝統を受け継ぐとともに、「令和」という新しい時代を生きる白金小学校をつくってまいります。それには、地域、保護者の皆様との連携が必要です。どうぞ、ご支援・ご協力をよろしくお願いいたします。

【白金小学校の教育目標・「合い言葉」】

個性的で創造的な行動と協調的で愛情のある行動ができ、広く国際社会において信頼と尊敬の得られる人間を育てる。このために、次の合い言葉を決める。

「合い言葉」
自分をみつめ まわりもみつめ
ひとを生かし 自分も生かし
めあてをもつて 努力を続ける

【これからの時代を生き抜くことができる子】

近年、情報化やグローバル化が人間の予測を超えて加速的に進展してきています。特にここ数年は、進化した人工知能が様々な判断を行ったり、身近な物の働きがインターネット経由で最適化されたりする時代になり、社会や生活の変化に驚かされています。

このような予測困難なこれからの時代を生き抜く子供たちには、課題に直面したときに自ら解決しようとする力や多様性を認め誰とでも共生していこうとする力に身に付け、未来を切り拓いていってほしいです。

本校の教育目標を具現化し、自ら未来を切り拓いていくことができる子供たちを育成するために、教職員が一丸となって全力を尽くしてまいります。

新たな気持ちで

副校長 高橋 宏彰

桜が咲き誇る季節が訪れ、新しい一年が始まりました。子供たちは学年が一つ上がり、気持ち新たに登校しました。進学・進級は大きな節目です。白金小学校の子供たちは、多くの期待や希望と少しの不安を胸に抱きながら、入学式・始業式を迎えたことでしょう。新たな出会いは人生を豊かにします。また様々な他者との交流は人生に深みを与えてくれます。節目があるからこそ、人は学び、成長することが出来ます。この一年が子供たちにとって笑顔があふれ、自身の成長を感じることが出来るものとなることを教職員一同、願っています。

これまで、地域、保護者の皆様方におかれましては、本校の教育活動にご理解、ご協力をいただき、多大なるご支援を賜りました。これまで白金小学校が積み重ね、継続してきた日々の価値を大切にしながらも、新たな時代が拓かれるこの一年を大切にして、多くの支えに感謝しながら、白金小学校の教育活動を行っていきます。今年度もどうぞ、よろしくお願いいたします。

生活指導より

生活指導主任 花井 拓也

やわらかな春風に心華やぐ季節を迎え、新年度がスタートしました。子供たちの「学びの約束」「学校生活の約束」「登下校の約束」を示した『白金スタンダード』を本年度も活用しながら、教育活動を進めてまいります。

白金スタンダードの中でも特に次の五項目を重点目標としました。

- ◎ あいさつ、会釈は目を見てします。
- ◎ 最後まで静かに聞きます。
- ◎ 言葉遣いに気をつけます。
- ◎ 身支度を整え、安全に学校生活を送ります。
- ◎ 交通ルールを守り、他の人の迷惑にならないように安全に気をつけて通学路を登下校します。

四月は「あいさつ、会釈は目を見てします。」の項目にまず力を入れ、職員から積極的に声掛けし、あいさつが活発に行き交うよう努めます。学年が一つ上になり、子供たちそれぞれが、自分の目標を立てていることと思います。新しい気持ちのこの時期に、学校や社会の中で安全にみんなが気持ちよく生活するために必要なルールやマナーをしっかりとし身につけてほしいです。いじめ・不登校等への取組として、毎月の学校生活アンケートや六月、十一月、二月には、いじめ防止強化をねらいとする、ふれあい月間の取組も引き続き実施し、学校生活で困っていることがないか調査をします。

校内の取組だけでなく、保護者の皆様や地域の皆様からの情報も不可欠だと思っています。学校が、保護者・地域の皆様と連携し、協力して白金小学校の児童を見守っていききたいと思えます。今年度もご協力お願いいたします。